

# 920MHz帯電子タグシステム等の技術的条件の審議開始の背景

別紙 1

- 世界最先端のワイヤレスブロードバンド環境を実現するため、携帯電話等のモバイルブロードバンドの利用状況や標準化など国際的な動向を踏まえ、ワイヤレスブロードバンド向け周波数の確保のための方策を検討することを目的とし、平成22年5月にグローバル時代におけるICT政策に関するタスクフォースの下に、「**ワイヤレスブロードバンド実現のための周波数検討WG**」を設置
- 平成22年11月に「ワイヤレスブロードバンド実現のための周波数検討WGとりまとめ」を公表。

## (関係部分抜粋)

### ○2015年/2020年に向けた周波数確保の基本方針

- 1 2015年を目標として確保すべき周波数帯 (3) センサーシステムの導入 ① **スマートメーター等の導入**  
 > 900MHz帯 << 5 MHz幅 >>

**RFIDについて、電力・ガス分野におけるスマートメーターの導入等に支障を来さないよう早急に900MHz帯の再編スケジュールを確定すべき。その際、2012年を目標として5 MHz幅を追加すべきである。**

### ○900MHz帯における周波数再編の基本方針

- 1 既存システムの周波数移行等について
  - ・ RFIDについては、欧米での割当て状況を踏まえ、国際競争力強化の観点から915-928MHzに移行する。
- 2 移行のスケジュール
  - ・ RFID、MCAについては、同一周波数帯での移行であることから、**2011年夏までに技術基準等を整備し、機器開発等を行い、2012年から周波数移行を開始する。**

